



新年度のスタートです。 コロナも少し落ち着き、5月にはインフルエンザと同等の扱いになる予定です。これにより任意予防接種が増えることとなります。そこで新年度初の保健だよりは・

【予防接種について】	まず、 年齢 でいうと・	生後2か月から始まります。
2ヶ月	Hib（ヒブ）・小児肺炎球菌・B型肝炎・ロタウィルス	
3ヶ月	四種混合（ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ）	
5ヶ月	BCG	
1歳	MR（麻疹・風疹）・おたふく（流行性耳下腺炎）・水痘（みずぼうそう） Hib・小児肺炎球菌・四種混合の追加接種	
3歳	日本脳炎（急ぐ場合は生後6か月から接種可）	

予防接種制度による分類

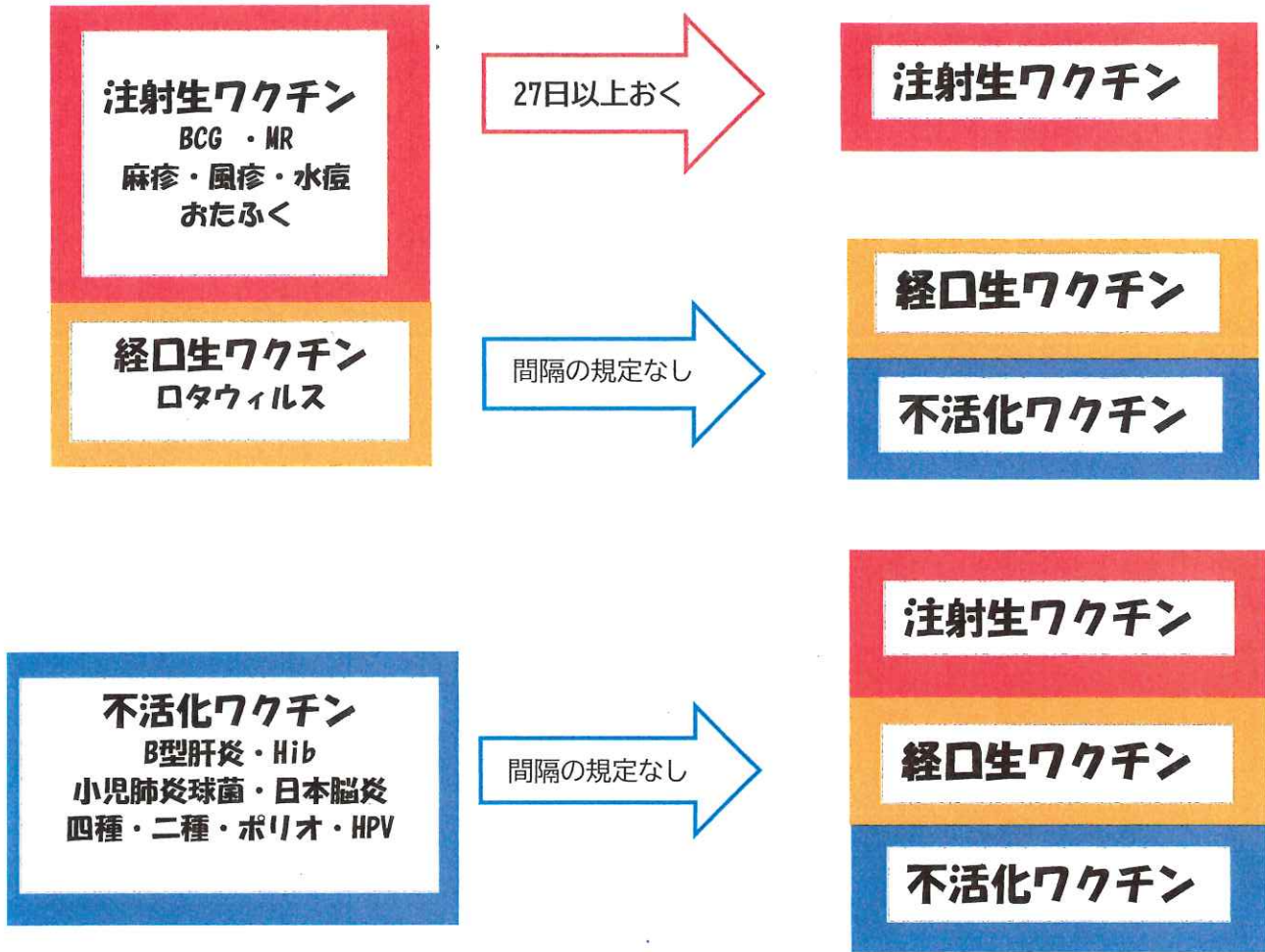
定期接種	定められた期間内で受ける場合は無料（公費負担）
任意接種	多くは有料（自己負担） ワクチンの必要性は定期接種と同等 インフルエンザ・おたふく （コロナはとりあえず臨時接種の扱い）

ワクチンの種類で見ると

生ワクチン	生きた細菌やウィルスの毒性（病原性）を弱めたものなので、軽く病気にかかった状態を作り、免疫を獲得します。 体内で細菌やウィルスが増殖するため発熱や発疹など、軽く症状が出ることがあります。
不活化ワクチン	細菌やウィルスを殺し、免疫（抵抗性）を作るのに必要な成分を使って、病原性（毒性）を無くして作ったもの。 体内で細菌やウィルスが増殖しないので一定の間隔で複数回接種することにより、免疫を獲得します。 少しずつ免疫（抵抗性）が減ってくるので、ワクチンの性質に応じて、一定の間隔で追加免疫（追加接種）が必要となります。
トキソイド	細菌が作り出す毒素を処理して、免疫を作る能力は持たせたまま無毒化したもの



異なった種類のワクチンを接種する場合の間隔



それぞれのワクチンの間隔は・・・

忘れないようにざっくり覚えるには・・・

初回接種

Hib・肺炎球菌・四種混合は4週間隔で3回 B型肝炎は4週間隔で2回

日本脳炎は1～4週間隔で2回

1歳になったら・・・ MR・水痘・おたふく

追加接種のHib・肺炎球菌・四種混合・B型肝炎

